



【産業戦略】 「みやぎ」が生んだ世界最速の電気自動車を作った男

清水 浩が語る「いよいよ来た電気自動車社会」 主催：交通環境研究開発機構



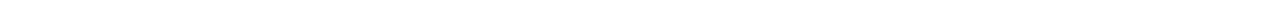
いよいよ本格化してきた電気自動車社会。

30年前、清水教授はいち早く地球環境を救うために電気自動車の研究開発に取り組み、時速370 kmの世界最速電気自動車を実現させた。

時代を切り開くパイオニアである清水教授は、故郷「みやぎ」、「東北」をこよなく愛する男でもある。

宮城県は現在、この厳しい経済環境下にも関わらず、自動車関連大型工場進出、操業に向けての準備を着々と進行させ、明るい兆しも見えつつある。

こうした現況を踏まえて「みやぎ」ならびに「東北」地元産業界として、産業活性化へのこの好機をどのように活かしていくべきか、清水教授が熱く、明解に産業戦略を語る。



- 1 日時 : 平成22年3月6日(土) 13:30~15:30
- 2 会場 : 仙台商工会議所 7F 大会議室
(宮城県仙台市青葉区本町2-16-12) TEL 022-265-8185
- 3 主催 : 交通環境研究開発機構
共催 : 仙台商工会議所 工業部会, (社)みやぎ工業会
後援 : (株)河北新報社
- 4 会費 : 2,000円(当日お支払い)
- 5 募集定員 : 150名
- 6 お申し込み : 別添申込用紙にご記入の上 FAX にて事務局までお申し込み願います。
申込締切日が過ぎておりますが、定員に若干の余裕がございますので
お早目にお申込み下さい。
- 7 お問い合わせ : 交通環境研究開発機構 事務局
〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-7-1 電力ビル別館
(株)小西造型内
TEL 022-225-8122
FAX 022-263-1695